

移行説明資料

教職員用

はじめに

本資料は、メールおよび関連システムの、以下の説明資料となります。

システム	対象者
メールの移行	メールを利用する教職員
Microsoft365の導入	メールを利用する教職員
Google Workspace for Educationの導入	メールを利用する教職員
認証方法の変更	メールを利用する教職員
インターネット接続環境の変更	インターネットに接続する機器の利用者、管理者

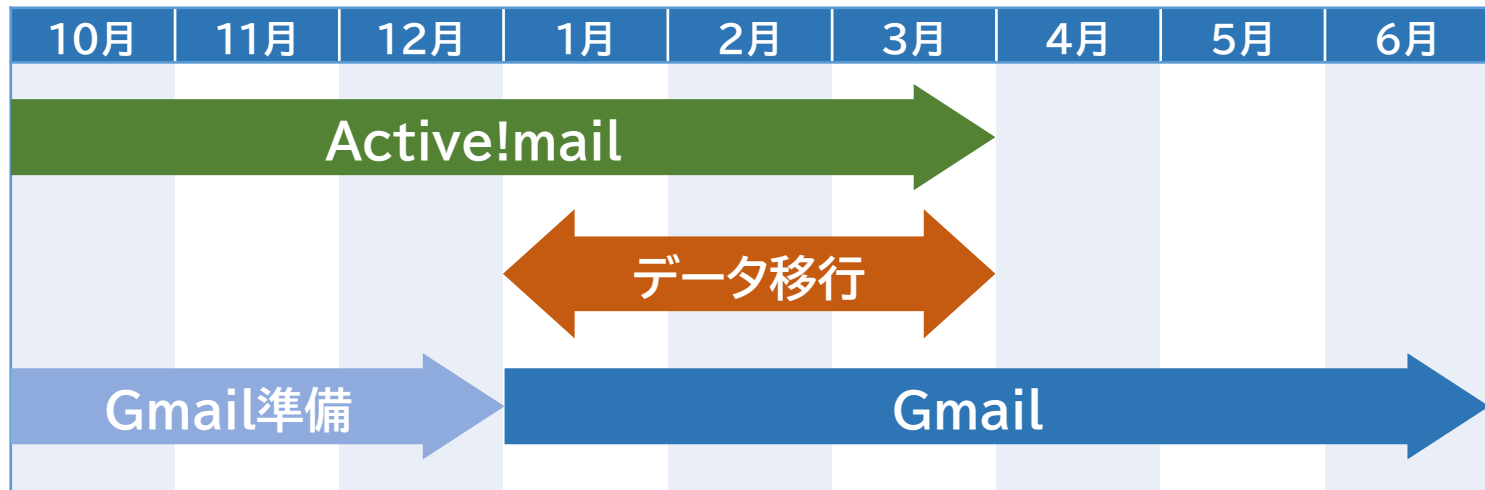
詳細は、Webページを参照ください。

[メール及び関連システムの更新のお知らせ\(教職員向け\)](#)

メールの移行

メールは現在利用いただいているActive!mailからGmailに移行します。
対象者は、**メールを利用している教職員**となります。

- ・令和6年1月4日からGmailが利用できます。
- ・令和6年3月31日まで、Active!mailも利用できます。
- ・令和6年1月4日～令和6年3月31日まで、Active!mailとGmailの両方にメールが送信されます。
- ・令和6年1月4日～令和6年3月31日に、順次、Active!mailのメールデータをGmailに大学で移行します。



※Gmail利用開始時には令和6年1月3日までのメールデータは参照できません。メールデータ移行後に参照できます。
データ移行期間中に順次移行するため、利用者の移行日時は決まっていません。
データ移行前は、1月3日までのメールはActive!mailで参照ください。

※詳細は、[Gメールへの変更案内](#)を参照ください。

メールの移行 Active! mailとGmailの比較

Active! mailとGmailの比較を下表に示します。

基本的な機能は同じとなります。

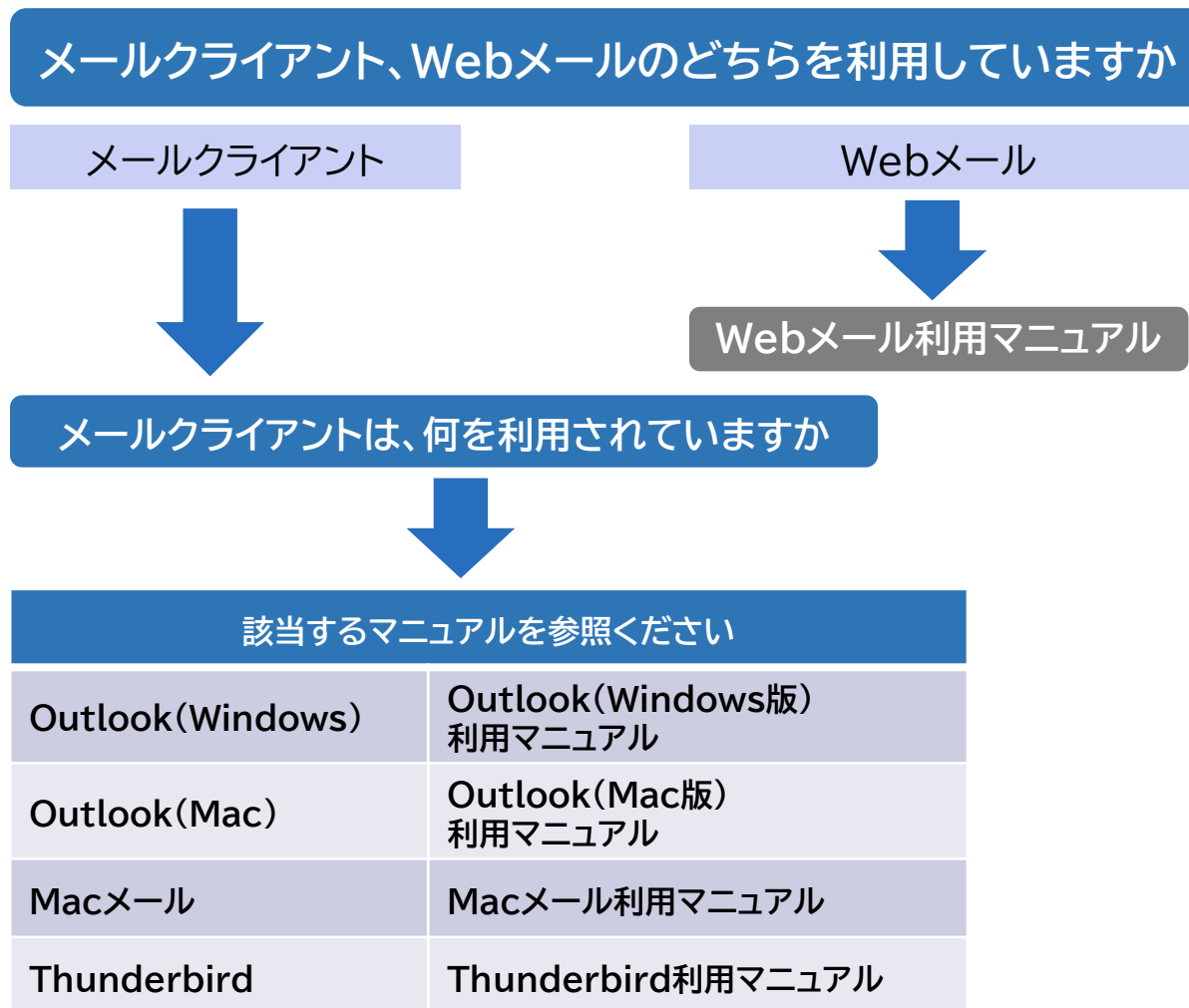
現在、ご利用のメールアドレスとパスワードはそのままご利用いただけます。

	Active!mail	Gmail	移行時の対応
個人メール	Webおよびメールクライアントの利用	変更ありません。 ※Web画面は変更となります。	メールクライアントを利用されている場合、設定追加が必要です。 Webメールを利用されている場合、Webメールの接続先URLが変更となります。
メーリングリスト	・新たにメーリングリストを利用する場合は、申請が必要 ・メンバーの変更も申請が必要	変更ありません	—
アドレス帳	メールのアドレス帳機能	同様の機能があります	個人で登録したアドレスについては、利用者で移行願います。
メール転送	メールの転送機能	同様の機能があります	転送設定については、利用者で再設定願います。
サブドメイン	サブドメイン付メールに対応	メーリングリストの「ml」以外のサブドメインは廃止します。 (xxx@ml.wakayama-med.ac.jp)	サブドメイン付メール (xxx@xx.wakayama-med.ac.jp) を利用されている場合は、令和6年1月4日から利用できません。個人メールを利用してください。
容量	3GB	20GB ※他のサービスと合わせた容量 ※一部教職員は5GB	

メールの移行 設定方法について

移行方法は、利用環境によって異なります

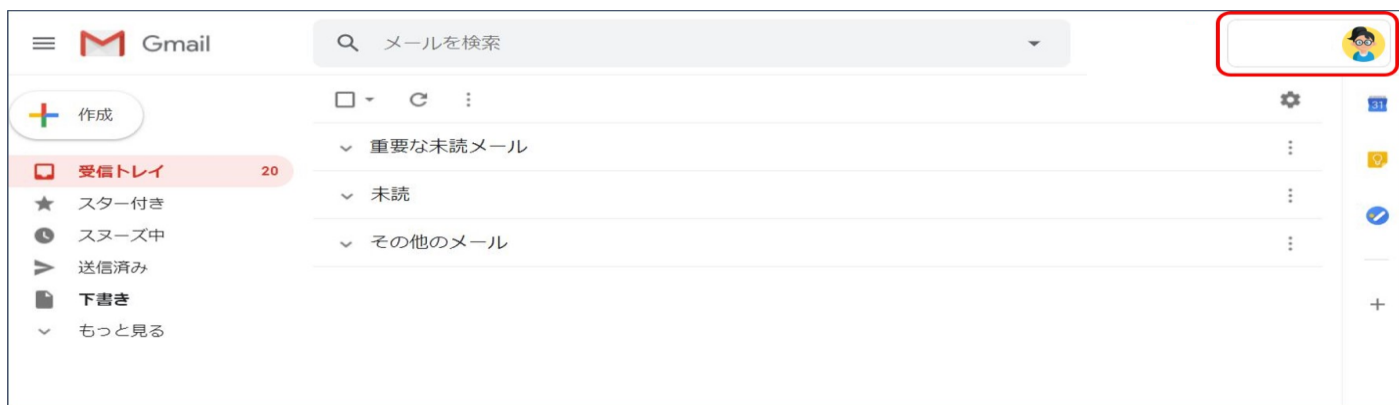
以下のフローから、自身に該当するマニュアルを参照ください。



メールの移行 組織メールについて

所属用・学会用メールは、現在利用いただいているメールアドレスを継続して利用できますが、利用方法が変わります。

- Gmailでは、所属用・学会用メールを利用する場合は申請が必要です。
- 申請した利用者には、所属用・学会用メール利用確認のメールが通知されるので、承認が必要となります。
- 承認した利用者は、Webメールでのみ所属用・学会用メールを利用することができます。
- Webメールへのログインは、利用者のメールアドレスとなります。
- 利用者のメールアドレスでログイン後に、所属用・学会用メールのメールアドレスに切り替えて利用いただけます。※下図の赤枠を選択して切り替え
- 所属用・学会用メールの継続利用の申請については案内をご確認ください。



※詳細は、[所属用・学会用メールの利用方法](#)を参照ください。

Microsoft 365の導入

令和6年1月4日からMicrosoft 365 Education が、メールアドレスで利用できます。

対象者	メールを利用する教職員 ・A3ライセンス: 下記以外の教職員 ・A1ライセンス: 名誉教授、地域医療医師等で職員番号がない方 非常勤講師
アカウント	メールアドレスがMicrosoft 365のアカウントとなります。 パスワードもメールと同じになります。
Office	A3ライセンスは、Web・デスクトップ版のOfficeが利用できます。 A1ライセンスは、Web版のOfficeが利用できます。
OneDrive	全教職員、OneDriveを利用できます。 容量: 20GB

※詳細は、[Microsoft365の利用案内](#)を参照ください。

Google Workspace for Educationの導入

令和6年1月4日からGoogle Workspace for Education(GWS)が、メールアドレスで利用できます。

対象者

メールを利用する教職員
※教育機関向け無償ライセンスである、Google Workspace for Education Fundamentalsライセンス

アカウント

メールアドレスがGWSのアカウントとなります。
パスワードもメールと同じになります。

アプリケーション

Gmail、Googleドライブ、Googleカレンダーなど、全てのアプリケーションサービスが利用できます。
※Googleフォトは利用できません。

ストレージ

Gmail、他のアプリケーションの利用を合わせたの容量です。
容量:20GB
※名誉教授、地域医療医師等で職員番号がない方及び非常勤講師は5GB

※詳細は、[Google Workspaceの利用案内](#)を参照ください。

認証方法の変更

Gmailを含むGWS、MS365の認証は、IDaaS(認証サービス)である**Azure AD(Entra ID)**を利用します。シングルサインオンと多要素認証を実装します。

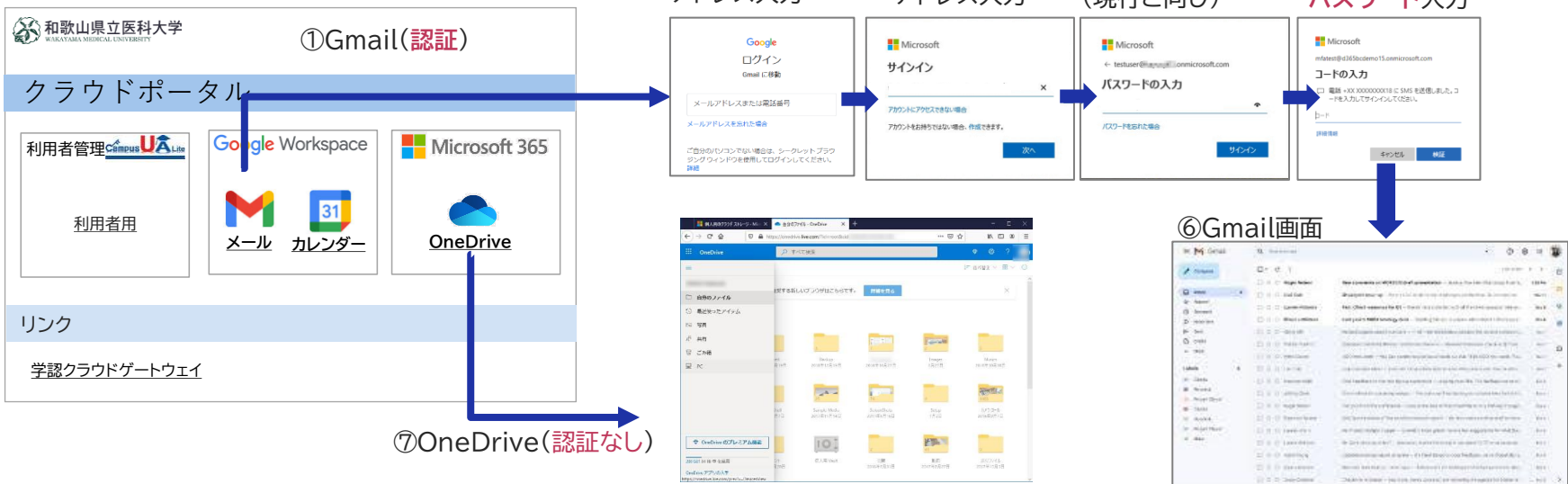
①シングルサインオン

シングルサインオンとは、利用者が1度認証することで、複数のシステム、クラウドサービスなどに認証なしで接続できるようにする仕組みです。

新システムでは、**学内からの利用に限りシングルサインオンが可能となります。シングルサインオンの有効期間は7日間となり、1度認証した後は、7日間**は認証なしでメールなどのクラウドサービスに接続できます。

②多要素認証

多要素認証とは、ID、パスワードに加えて別の要素で認証する方式です。本システムでは、**ワンタイムパスワード**の入力が必要になります。最初の認証時に、ワンタイムパスワードの通知方式を選択いただきます。



※詳細は、[認証サービスの利用案内](#)を参照ください。

⑧OneDrive画面

※画面は変更になる可能性があります。

インターネット接続環境の変更について

令和6年3月31日に旧インターネット接続環境が停止します。

- ・プロキシサーバは廃止され、プロキシ設定が不要となります。
- ・DNSサーバは更新され、IPアドレスが変わります。

対象機器: インターネットに接続する機器
・端末、サーバ、プリンタ等

対象者 : 対象機器の利用者、管理者

対処内容 : 対象機器のインターネット設定を変更してください
・対象機器の、プロキシ設定の変更
・対象機器の、DNSのIPアドレスの変更

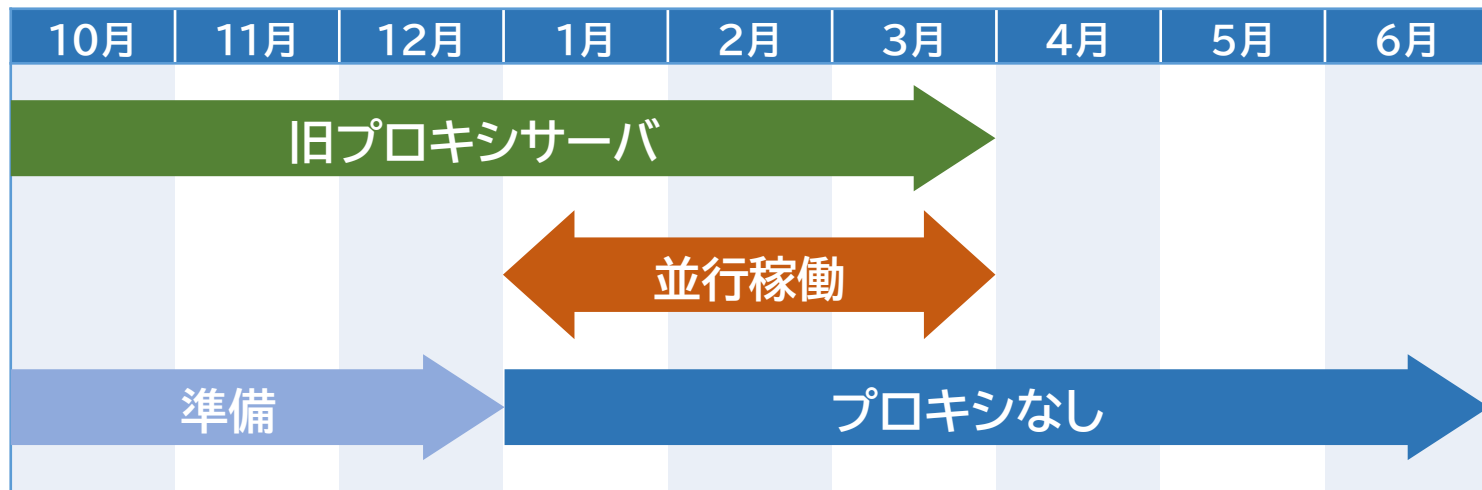
インターネット接続環境の変更について プロキシサーバ

プロキシサーバは廃止となります。

学内からインターネット接続する場合でも、プロキシ設定は不要となります。
対象機器は学内からインターネット接続する端末、サーバ、プリンタすべてとなります。
対象者は、インターネット接続する機器の利用者、管理者となります。

※サーバ、プリンタは納入業者に、変更の依頼をお願いします。

- ・プロキシなしで、令和6年1月4日からインターネットを利用できます。
- ・令和6年3月31日まで、プロキシサーバも利用できます。(並行稼働)
- ・令和6年1月4日～3月31日の間に、プロキシの設定変更をお願いします。



※詳細は、[インターネット接続環境の変更案内](#)を参照ください。

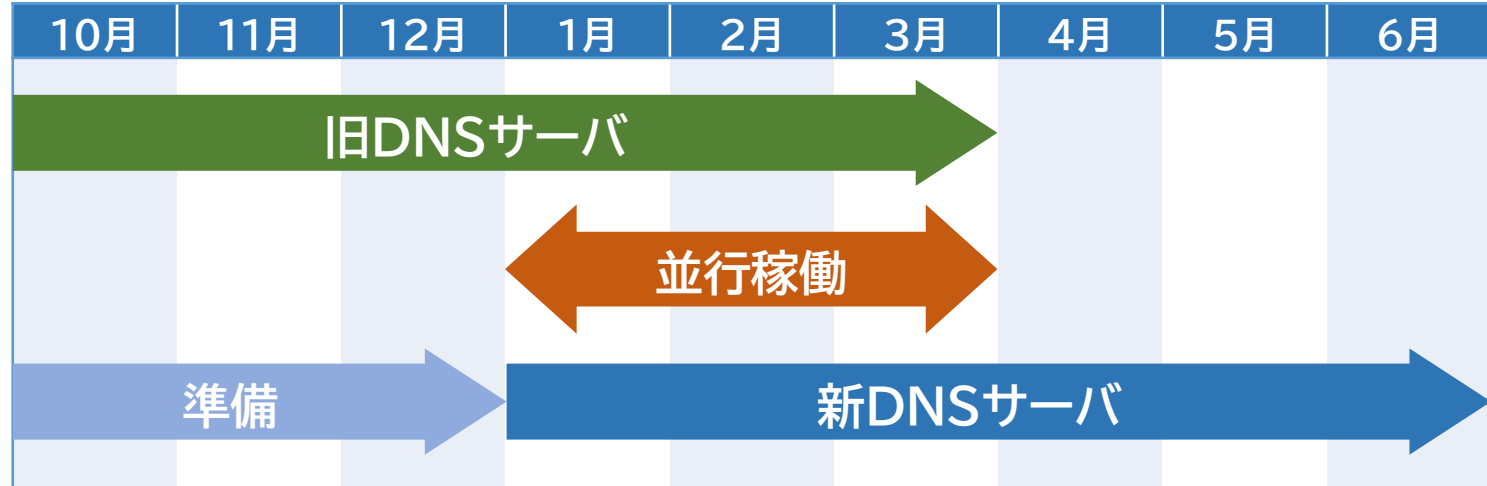
インターネット接続環境の変更について DNSサーバ

DNSサーバは新DNSサーバに移行します。

DNSサーバを手動設定している、端末、サーバ、プリンタが対象となります。
対象者は、端末の利用者、サーバ、プリンタの管理者等となります。

※サーバ、プリンタは納入業者に、DNSを個別設定しているか確認いただき、変更をお願いします。

- ・新DNSサーバは令和6年1月4日から利用できます。
- ・令和6年3月31日まで、旧DNSサーバも利用できます。(並行稼働)
- ・令和6年1月4日～3月31日の間に、DNSサーバの設定変更をお願いします。



※詳細は、[インターネット接続環境の変更案内](#)を参照ください。